

ときしホームヘルパー通信

平成24年12月号

土岐市社会福祉協議会

土岐市下石町一〇六〇

乾燥対策

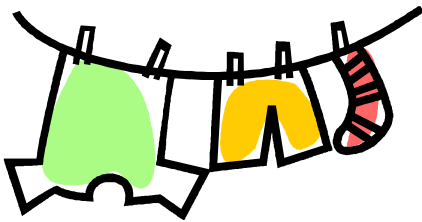
秋から冬にかけて空気の乾燥が進んでくると、皮膚や唇がカサカサになったり、ドアノブに触って静電気にびっくりしたりと、日常生活にもさまざまな影響が出てきます。また、暖房器具を使用すると、室内がますます乾燥してしまいます。その結果として、脱水症状を引き起こしてしまう場合もあるので、過度に乾燥しないように注意する必要があります。

「ドライスキンについて」

冬になると、太もも、すね、腰まわりなどが、「かゆくて眠れない」と訴える方があります。冬になると、皮膚の角質やバリア機能の低下が起こり、皮膚が荒れがちになります。かきむしった結果、雑菌が入って炎症が起こることもあるので注意しましょう。

ドライスキンの予防

- ①入浴は頻繁に！長湯は厳禁
- ②からだを洗う時の基本はやさしく！
- ③入浴後は乳液などでしっかりと保湿しましょう
- ④下着などは、天然素材の木綿を選びましょう
- ⑤室内の温度管理を。温めすぎないように



洗濯物の部屋干し



濡れタオルを部屋につるす

こんな方法で乾燥を

加湿器の使用



水の入った器を置く



職員の研修報告

サービスの質の向上を目指して毎月職員が1名づつ、ウエルフェア土岐で行う研修に参加しています。

四月 褥瘡対策セミナー

六月 接遇研修

七月 介護技術「基礎コース」

八月 メンタルヘルスケア

九月 感染症対策として

ノロウィルス対策として



十月 介護記録の書き方

十一月 指導する立場の職員が



指導する立場の職員が